

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月14日		記入者	連絡先	2629
部 名	保健福祉部	課 名	高齢者福祉課	課長名	市川正美
事務事業名	軽費老人ホーム事務費補助事業				
予算上の事務事業名	軽費老人ホーム事務費補助金				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		11210		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				事業開始年度
施 策 名	第1施策 地域ケアサービスの充実				平成15年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市軽費老人ホーム事務費補助金交付要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	相模原市高齢者保健福祉計画(第2期)		介護保険事業計画を包含し、高齢社会を迎える本市の高齢者の保健、福祉、介護、社会参加と生きがいづくりなどに係る施策を含んだ総合的な計画		
計画年次	平成15	年度～	平成19	年度	
4 事業形態の区分 助成(給付・補助・貸付) ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
軽費老人ホーム(本市の場合はケアハウスのみ)入所者の経済的負担軽減のため、社会福祉法人が入所者から徴収すべき事務費の一部を減免した場合の減免額に対し補助するもの。補助対象は、事務費実支払額と国が定める事務費のいずれか低い方の額から、入所者からの事務費実徴収額を控除した額の10/10を補助するもの。			市内軽費老人ホーム(ケアハウス)を運営する社会福祉法人		
(3) 平成17年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
軽費老人ホーム(9箇所)を運営する社会福祉法人に対し、129,852,181円の補助を行った。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑寿会(コスモス) 17,163,405円</li> <li>・ 久寿会(中の郷) 15,776,076円</li> <li>・ 智泉会(はあとびあ) 18,133,750円</li> <li>・ 蒼生会(モモ) 15,530,080円</li> <li>・ 山久会(東林間) 18,002,795円</li> <li>・ 明恵会(グレープ) 15,263,625円</li> <li>・ 虎千会(実の里) 25,417,450円</li> <li>・ 東の会(みたけ) 3,345,360円</li> <li>・ 希 望(こもれび) 1,219,640円</li> </ul>					
6 関連・類似事業や他市の状況					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神奈川県、県内政令市・中核市も同様の補助事業を実施している。</li> <li>・ 国要綱(技術的基準)に基づく全国一律の補助制度である。</li> </ul>					
7 事業費の推移 <span style="float: right;">〔単位：千円〕</span>					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	124,228	123,471	129,853	135,962	135,962
一般財源	82,819	123,471	129,853	135,962	135,962
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	41,409	0	0	0	0
人件費の合計	2,017	2,017	2,012	2,012	2,012
事業コスト合計	126,245	125,488	131,865	137,974	137,974
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	軽費老人ホーム事務費補助事業			対象名称と単位	定員数(人)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	124,228	123,471	129,853	135,962	135,962
対象数	198	198	218	218	218
単位あたり経費(円)	627,414	623,591	595,656	623,679	623,679
前年度比		0.99	0.96	1.05	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	入居率（％）	指標式と指標の説明		入居者数÷定員数×100	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	198.0	198.0	218.0		
目標	198.0	198.0	218.0	218.0	218.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	ケアの経験値（％）	指標式と指標の説明		職員の平均勤務年数÷最高補助年数×100	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	4.5	4.8	5.0		
目標	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0
目標達成度（％）	32.1	34.3	35.7		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		施設の設置目的（家庭環境や住宅事情等の理由により居宅での生活が困難な高齢者に低額での入所を可能とする）を踏まえ、今後も継続していく必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
入所者へのサービスの質の向上を図るため、市の指導監査等の機会を通じ、運営の指導助言を行う。			国において、養護老人ホームと軽費老人ホームのあり方について検討が進められており、動向を注視する必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			